

平成24年度第1回土岐市男女共同参画懇話会

平成24年8月10日（金）

文化プラザ特別会議室 14時00分から

次 第

1. 開 会
2. 課長あいさつ
3. 委員交代の報告
4. 会長あいさつ
5. 議 事

議 題

- (1) 平成23年度男女共同参画プラン実施状況及び
平成24年度以降の事業の方向について
- (2) その他

6. 閉 会

平成24年度 第1回土岐市男女共同参画懇話会 会議録

日時：平成24年8月10日（金）14:00～16:00

会場：土岐市文化プラザ 特別会議室

発 言 者	内 容
事 務 局	（議題1 平成23年度男女共同参画プラン実施状況及び平成24年度以降の事業の方向について説明）
会 長	男女混合名簿の実施率が低いと思われる。小さいうちから男女共同参画の意識を持つためにも混合名簿の活用を推進するべきでは。
事 務 局	状況を確認し、教育委員会へ働きかけるようにする。
委 員	DV相談の携帯カードを各公共施設に設置してあるのはいいと思う。今後は立ち寄りやすいスーパー等にも設置できれば効果的ではないか。
事 務 局	ご提案の件を含め、今後は企業との連携も図っていきたい。
委 員	平成23年度の当初の事業計画としてあげられていた講座等の事業が実施されていない。また、これまで行ってきた料理講座などがなくなっているがどうか。
事 務 局	講座の開催については他の課で開催している講座と内容が類似していることから事業の見直しを行った。
委 員	実施状況報告は他の課が実施しているものがほとんどであるが、総合政策課は他の課に行わせるだけなのか。
事 務 局	総合政策課の役割はすべての施策において常に男女共同参画の視点に立ち、調整やとりまとめをすることだと考えている。
委 員	せっかく図書館に男女共同参画に関する本があるなら、もっとPRを行い活用していただきたい。
事 務 局	毎年6月に男女共同参画週間があるので、それにあわせ特設コーナーを設けるなど啓発を検討させていただく。
委 員	自治会役員に占める女性の割合が低いが、町内会長を女性にするモデル地区を検討してはどうか。
委 員	土岐市は少子高齢化が進んでいる。行政も自治会も対策を練るべきでは。
事 務 局	少子高齢化社会にはさまざまな問題があるが、いずれにしても行政だけでは解決できないものも多く、今後は市民協働により地域と連携して進めていきたい。
委 員	女性職員の管理職登用を病院や保育職だけでなく行政職でももっと推進するべきではないか。
委 員	管理職への昇任試験は実施しているか。あれば男女平等だと思うが。
会 長	大学でも同じ能力があれば女性を採用するなど男女共同参画を進めている。行政が先頭に立って男女共同参画を推進し、手本となっていきたい。
事 務 局	昇任試験は実施していないが、人事評価制度により男女を問わず能力に応じて登用している。

発 言 者	内 容
委 員	市内に産科がないのは不安である。
事 務 局	現在は産科医の開業に関する情報収集を行っている。全国的にも産科医が少ない現状であるが、産科医の確保に努めたい。
委 員	仕事も家庭も両立される方が増えているが、親子の絆（特に母親と子ども）の重要性をもっと啓発していただきたい。
事 務 局	子どもだけでなく親の学習機会も必要であると考えている。
委 員	市によって育児に関するサービスや施策に差があるように感じる。
事 務 局	市では、乳幼児学級の開催や母子保健推進員が各家庭を訪問し、お母さんや赤ちゃんの健康相談に応じるなどの活動をしている。今後も良いサービスがあれば取り入れていきたい。
委 員	香山リカ氏の講演会はよかった。国や県の補助金を活用するなどしてもっと講演会等を開催し、今後も情報を発信していただきたい。
委 員	退職した男性の中には、市の講座に参加したいが、女性が多いため参加しづらいと言われていた。男性の料理講座のようにまずは男性に限定した教室等をやってみるのもいいのではないか。
委 員	退職した方に地域の活動に参加していただけるような施策を検討してはどうか。
事 務 局	マスコミや広報をもっと活用し情報発信をしていきたい。また、今後は男女を問わず地域の活動に参加していただけるようなきっかけ作りに努めさせていただく。
事 務 局	（議題2 その他（次期プラン策定等）について説明）
委 員	小さいころから男女共同参画の意識を持てるような教育をぜひ願います。
会 長	男女共同参画はさまざまな分野で関わっている。ニーズや方法を検討し次期プランに反映させていただきたい。